

【注】「電子(を)吸引(性・力)」→「電子(を)求引(性・力)」は、どちらの表記も存在しますが後者がより適切と判断して修正しました。数が多いので正誤表には入れていません。

ページ	問題番号など	訂正前	訂正前(誤)	訂正後(正)	訂正日
本冊	30	51 (1)	---	〈問題文を変更〉 気体の状態方程式 $PV = nRT$ から、気体の密度 $d$ ( $g/L$ ) を求める式を導け。ただし、 $P$ , $V$ , $w$ , $M$ はそれぞれ気体の圧力, 体積, 質量, 分子量を表し、 $T$ は絶対温度, $R$ は気体定数とする。	2024/4/5
本冊	36	63 (3)	---	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/4/5
本冊	40	73	6行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/6/14
本冊	42	76 (4)	---	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
本冊	47	85	13行目	求める。	2024/8/5
本冊	47	86	8行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
本冊	58	108 (1)	1~2行目	反応物の濃度 $C$ の変化する速さ	2024/5/28
本冊	59	110	11行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 J / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
本冊	60	111	1~4行目	〈問題文を変更〉 下表は、右図のような装置を用いた鉄(III)イオンを触媒とする過酸化水素の分解反応で発生する酸素の体積から、過酸化水素水のモル濃度 $[H_2O_2]$ の時間による変化を求めたものである。	2024/8/19
本冊	64	118	7行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
本冊	67	125	2行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
本冊	67	126 (2)	5行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
本冊	71	---	ページ欄外	〈ページ左上に追加〉 問題130, 131で、必要があれば、水のイオン積 $[H^+][OH^-] = 1.0 \times 10^{-14} (mol/L)^2$ を用いよ。	2024/5/2
本冊	72	132	11行目	下の(3)	2024/5/20
本冊	72	132 (2)	---	モル溶液	2024/5/20
本冊	74	---	ページ欄外	〈ページ右上に追加〉 問題136~139で、必要があれば、水のイオン積 $[H^+][OH^-] = 1.0 \times 10^{-14} (mol/L)^2$ を用いよ。	2024/5/2
本冊	85	159 (3)	2行目	(mol/L)	2024/8/2
本冊	86	161	1行目	[A] ~ [C] の各実験を	2024/6/19
本冊	101	187 (6)	3行目	〈文末に追加〉 (ファラデー定数 $F = 9.65 \times 10^4 C/mol$ )	2024/8/5
本冊	140	244 (3)	1~2行目	それぞれ何種類の立体異性体が	2024/9/3
本冊	151	268	3行目	炭素原子には	2024/7/31
本冊	205	355	表 システインの側鎖	H-S-(CH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub> -	2024/12/24
本冊	205	355①	2行目	メチオニン	2024/12/24
本冊	209	361	問題タイトル	トレオニン・酒石酸の立体異性体	2024/7/31
本冊	370	370	10~11行目	凝固させる	2024/8/19
本冊	217	373	9行目	〈文末に追加〉 (気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 Pa \cdot L / (K \cdot mol)$ )	2024/8/5
別冊解答	2	1 解説(4)④	全文	同族元素のイオン半径は、原子半径と同様に説明できるが、同周期元素では、ふつう1, 2, 13族元素はその周期の1つ前の周期の貴ガスの電子配置をもつ陽イオンになるので、この順にイオン半径は小さくなる。16, 17族元素はその周期の貴ガスの電子配置をもつ陰イオンになるので、この順にイオン半径は大きくなる。つまり、原子番号とイオン半径は一定の傾向を示さない。	2024/4/2
別冊解答	17	21 解説(2)	---	〈全文差し替え(補足は削除)〉	2024/5/3
別冊解答	28	40 解説(3)	7行目	[ mol ]	2024/4/29
別冊解答	28	40 参考	23行目	〈数式中の数字2か所〉4	2024/4/29
別冊解答	43	65 解答(3)	---	5.6g	2024/5/8
別冊解答	43	65 解説(2)	4・9行目	52.4	2024/5/8
別冊解答	43	65 解説(2)	10行目	42.88	2024/5/8
別冊解答	43	65 解説(3)	5行目	52.4	2024/5/8
別冊解答	43	65 解説(3)	6行目	5.6	2024/5/8
別冊解答	60	89 解答(4)	反応式左辺	50 <sub>2</sub>	2024/9/3

ページ	問題番号など	訂正前	訂正前(誤)	訂正後(正)	訂正日	
別冊解答	73	107 解答(4)	---	$O_{2(g)}$ の生成速度0.080mol/L・分	$O_{2(g)}$ の生成速度0.0794mol/L・分	2024/5/30
別冊解答	73	107 解説(2)	2行目	$k = 0.294$ [1/分]	$k = 0.2941 \approx 0.294$ [1/分]	2024/5/30
別冊解答	73	107 解説(3)	1行目	$= 0.294 \times 0.540 = 0.159$	$= 0.2941 \times 0.540 = 0.1588 \approx 0.159$	2024/5/30
別冊解答	73	107 解説(4)	5行目	0.5である。	0.5より、	2024/5/30
別冊解答	73	107 解説(4)	6行目	$NO_{2(g)}$ の生成速度 $0.159 \times 2 = 0.318$ [mol/L・分]	$v_{NO_{2(g)}} = 0.1588 \times 2 = 0.3176 \approx 0.318$ [mol/L・分]	2024/5/30
別冊解答	73	107 解説(4)	7行目	$O_{2(g)}$ の生成速度 $0.159 \times 0.5 = 0.080$ [mol/L・分]	$v_{O_{2(g)}} = 0.1588 \times 0.5 = 0.0794$ [mol/L・分]	2024/5/30
別冊解答	74	108 解答(1)	---	$dC/dt = -kC^2$	$-dC/dt = kC^2$	2024/5/30
別冊解答	74	108 解説(1)	2~3行目	反応物の濃度Cの変化する速さ	ヨウ化水素の分解速度-	2024/5/30
別冊解答	90	132 解説(2)	7行目	モル溶液	モル濃度	2024/5/20
別冊解答	97	142 解説(1)	6行目の反応式右辺	$H_2O$	NaCl	2024/8/21
別冊解答	101	148 解説(1)	7行目	$[H^+] + \dots$ から始まる式の末尾に追加)	$\dots$ ①	2024/8/19
別冊解答	106	157 解説ア	7行目	$= 1.21$	$= 1.20$	2024/10/30
別冊解答	110	161 解説(1)~(3) [D]	7行目の反応式右辺	$Mn^{2+}$	$2Mn^{2+}$	2024/7/29
別冊解答	112	163 解説	12行目	$NaCO_3$	$Na_2CO_3$	2024/6/19
別冊解答	112	163 解説(2)	5行目	$KMnO_4$	$KMnO_4$	2024/5/20
別冊解答	112	163 解説(2)	7行目	$C_2O_4^{2-}$	$Na_2C_2O_4$	2024/5/20
別冊解答	113	164 解説(1)	4行目の反応式右辺	$O_2 + 2H_2O$	$O_2 + H_2O$	2024/4/7
別冊解答	113	164 解説(2)	1行目	$Na_2S_2O_3$	$Na_2S_2O_3$	2024/10/30
別冊解答	115	168 解説(2)	10行目の反応式	$2O_2 + 2e^- \rightarrow S_2O_4^{2-} + 2e^-$	$2O_2 + 2e^- \rightarrow S_2O_4^{2-} + 2e^-$	2024/8/20
別冊解答	140	200 解答(3)(b)	---	褐色	黒褐色	2024/4/5
別冊解答	171	238 解答⑥	---	$KFe[Fe(CN)_6]$	$Fe_4[Fe(CN)_6]_3$	2024/10/28
別冊解答	171	238 解説(c)	2~3行目	〈反応式を変更する〉	$4Fe + 3K_4[Fe(CN)_6] \rightarrow Fe_4[Fe(CN)_6]_3 + 12K^+$	2024/10/28
別冊解答	175	243 解答(3)	---	$C = 3.0 \times 10^{-6}$ [mol/L]	$C = 3.0 \times 10^{-8}$ [mol/L]	2024/7/23
別冊解答	176	243 解説(3)	8行目	$C = 3.0 \times 10^{-6}$ [mol/L]	$C = 3.0 \times 10^{-8}$ [mol/L]	2024/7/23
別冊解答	183	249 参考 環式化合物の~	一番目の反応式	〈左辺の三員環〉 $OH_2$	$CH_2$	2024/9/18
別冊解答	195	261 解説(2)(ii)	---	〈文末に追加〉	つまり、この油脂1molに付加しうるIは6molである。また、定義より、油脂100gに付加しうるI (分子量254) のグラム数がヨウ素価であるから、 $(100/878) \times 6 \times 254 \approx 174$	2024/7/31
別冊解答	211	276 解答(3)	1番目の反応式	〈行頭に追加〉	(イ)	2024/7/31
別冊解答	211	276 解説	10行目	アセトンが生成する。	アセトンが生成する	2024/4/5
別冊解答	211	276 解説	右段24行目	$n = 1$	$n = 1$	2024/7/10
別冊解答	216	282 解説(2)	3番目の反応式	〈(副)の化合物の構造式〉	〈*を削除する〉	2024/7/26
別冊解答	230	299 解答(2)	---	アルキド樹脂	グリブタル樹脂(アルキド樹脂)	2024/4/12
別冊解答	231	299 解説(2)	反応式の説明文	アルキド樹脂	グリブタル樹脂	2024/4/12
別冊解答	231	300 補足	(b)の反応式	〈2番目、3番目の化合物の構造式〉	〈1番目の化合物と同じ位置にCを追加する〉	2024/7/17
別冊解答	250	318 参考〈後者〉	後ろから8行目	一旦	一旦	2024/12/24
別冊解答	259	327 参考	5,7行目	ヒドロキシケトン基	$\alpha$ -ヒドロキシケトン基(2か所)	2024/8/19
別冊解答	289	356 解答(1)	---	-Gys-	-Cys-	2024/7/31
別冊解答	318	383 参考 光透過性高分子	2行目	結晶しにくい	結晶化しにくい	2024/7/31

<</>で囲まれた部分は以下のような文字です

下線 <u></u>

イタリック <i></i>

太字 <b></b>

上付き <sup></sup>

下付き <sub></sub>

ページ

問題番号など

訂正行

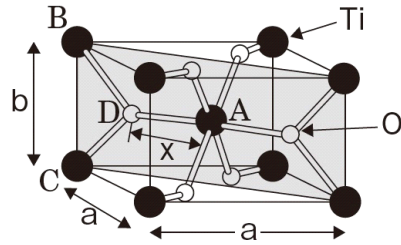
訂正前 (誤)

訂正後 (正)

訂正日

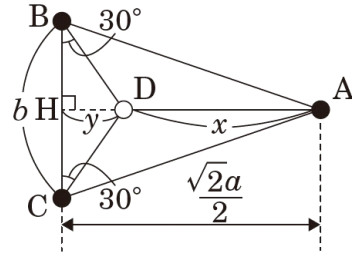
--

(2)  $\text{TiO}_2$ の結晶を網線をつけた面で考えると,



$$a = 0.45\text{nm}, \quad b = 0.30\text{nm}$$

題意より,  $\angle BDC = 120^\circ$ なので,  $\triangle BDC$ は底角  $30^\circ$ の二等辺三角形である。



$\triangle BDH$ において,  $DH : BH = y : \frac{b}{2} = 1 : \sqrt{3}$ より

$$\therefore y = \frac{b}{2\sqrt{3}} = \frac{\sqrt{3}b}{6}$$

$$\text{求める長さ } x = AH - DH = \frac{\sqrt{2}a}{2} - \frac{\sqrt{3}b}{6} = \frac{3\sqrt{2}a - \sqrt{3}b}{6}$$

$a = 0.45\text{nm}$ ,  $b = 0.30\text{nm}$ を代入すると

$$x = \frac{3 \times 1.41 \times 0.45 - 1.73 \times 0.30}{6} = 0.230 \doteq 0.23[\text{nm}]$$